

都道府県別にみた高校生の陸上長距離記録の関係についての研究

大槻 昇平 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 金森 雅夫

キーワード：陸上競技, 高校生, 記録

1. 緒言

現在高校生の長距離選手の記録は昔に比べて速くなっている。理由として、シューズの機能性がよくなっていることやスポーツ留学といった強豪校にいて環境のいいところで練習するなどさまざまなことがあげられる。高校の長距離種目の試合や駅伝を見ると、毎年同じ高校が上位に入っていると感じた。そこで本研究はそれぞれの都道府県と陸上競技長距離種目の成績との関係进行分析し、どの都道府県が最も優秀な成績を残しているのか考察することを目的とする。

2. 研究方法

1) 調査項目

都道府県別高校男子 5000m, 都道府県別高校女子 3000m の陸上記録

2) 調査対象者

5000m 競技出場の高中生男子, 3000m 競技出場の高中生女子

3) 調査方法

公表されている選手のベスト記録を月刊陸上マガジンより引用したもの。

4) 分析方法

日本の高校生男子 5000m、高校生女子 3000m ベストランキング 100 傑から都道府県別にグラフ化,

3. 結果と考察

本研究での分析の結果 2003 年～2012 年の陸上マガジンの 100 傑に記載されている男子高校生 5000m は兵庫県が 91 人で最も多く、女子高校生 3000m でも兵庫県が 104 人の都道府県で最も多い結果となった。兵庫県は公益財団法人日本陸上競技連盟に公認されている競技場が都道府県の中でも圧倒的に 1 番多い。ここ最近の男子の 10 年間の全国高等学校駅伝競走大会においても毎年入賞している。2 番の愛知県の高校は 6 回の入賞、熊本県の高校は 5 回の入賞をしている。このことから全国高等学校駅伝競走大会で入賞する高校の都道府県はその年の 100 傑に多く載ると考えられる。

4. 結論

兵庫県は長距離種目において圧倒的に陸上マガジンの 100 傑に記載されている人数が多く、男子高校生、女子高校生ともに競技力が 1 番高いという結論になった。

引用・参考文献

- 1) 月刊陸上マガジン 5 月号 (講談社)
2003 年～2012 年
- 2) 競技場—公共財団法人陸上競技連盟—
(<http://www.jaaf.or.jp/stadium/>)